

耐震性と採光を両立

スマート・ブレース販売強化

ポラスグループ

ポラスグループ（埼玉）は壁倍率2倍の耐力を玉泉越谷市、中内晃次郎社長）は、ポラス暮し科学研究所が開発した薄型採光耐力壁「スマート・ブレース」の外販を強化している。同製品は14年度グッドデザイン賞を受賞した製品で、採光を取りながら耐力を確保でき

る。スマート・ブレース



開口設計部の自由度も高められる

は壁倍率2倍の耐力を持ち、耐震性と採光、視線遮蔽、施工性、意匠の5つの性能を複合

させたもので、開口設計部の自由度を高められる。ブレースは、柱長さの71%以上を確保すればよく、垂れ壁の下に大きな開口を設けたり、天窓のような高い位置や掃き出し開口などを設けたりと使い方が柔軟に選べる。これにより隣戸からの視線を遮蔽しつつ採光を確保することや、大きな開口を設けることも

できる。特に都心部の狭小地などで、耐震性を確保しながら光あふれる明るい住空間をつくり出すのに適した技術だ。同研究所では「開発者としては従来にない建物デザインが実現できるこの技術を多くの方に活用してほしい。今回のグッドデザイン賞受賞に際してはプレゼンテーションを刷新した。商品の魅力がより顧客に伝わるように、ブレースを強化していきたい」と話している。

できる。特